

2人に1人が、歯周病！

厚生労働省の令和4年歯科疾患実態調査結果によると、4mm以上の歯周ポケットがある人の割合は47.9%となっています。8020運動により20本以上の歯をもつ人の割合が増加しています。その反面、特に高齢者で歯周病が増えているという事実もあるのです。

歯周病は、「サイレントな病気」とも呼ばれます。痛みが出にくいので、自分では進行に気づかないことがその理由です。政府が「国民皆歯科健診」を検討していることはご存じでしょうか。ありふれた病気でありながら、検査をしないとわからない疾患が、歯周病です。

近年、歯周病と全身の健康との関連がわかってきました。歯周病は糖尿病を悪化させるほか、脳や心臓の血管の病気、肺炎、早産、肝疾患、慢性腎臓病、さらには認知症やがんとも関連があります。歯周病が進行している人は、全身の健康もおびやかされているのです。

当院・歯周病診療科には、複数の歯周病専門医が在籍しています。歯周病の状態の検査に加えて、痛みがき指導から外科的な処置まで、あらゆる歯周病対策を実践しています。歯周病について不安のある方、どうぞお気軽にご相談ください。

歯周病診療科 准教授 青山 典生



歯周外科治療で歯石を徹底的に除去。歯周組織再生療法により、歯を支える骨の回復も。

神奈川歯科大学附属病院

地域連携室